



第19回北海道特別支援教育学会 令和7年度 札幌大会 一次案内

2025年11月
1(土)ー2(日)

教育×医療×福祉の視点からケースを探る
ー子どもの可能性を引き出すコツはあるのか？

- 期 日 2025（令和7）年11月1日（土）、2日（日）
- 会 場 北海道教育大学札幌校（札幌市北区あいの里5条3丁目）
- 主 催 北海道特別支援教育学会
- 共 催 北海道教育大学
- 後 援 北海道教育委員会（予定） 札幌市教育委員会（予定）

第19回 北海道特別支援教育学会札幌大会テーマ

「教育×医療×福祉の視点からケースを探る

－子どもの可能性を引き出すコツはあるのか？」

—開催趣旨—

【日々の悩みを解決しよう】：特別支援教育をめぐる教育現場は多様化・複雑化しており、教師や学校だけでは解決できない事例や課題に出会うことが多くなっているいませんか？一人で悩んでいる方も少なくないのではないのでしょうか。多職種連携の重要性が叫ばれていても、現在の教師の働き方では、連携する時間を確保することが難しいことがあります。そこで本大会では、知識を学ぶことを目的とした従来の講演・講義型のプログラムだけでなく、参加型のプログラムを企画しました。

初日に開催するメインプログラムは【専門家チーム会議をのぞいてみよう】のコンセプトのもと、事例報告者に対し、教育・医療・福祉分野の専門家がケース会議を開きます。前半、参加者はオブザーバーとしてケース会議に参加していただきます。後半は、参加者全員で、事例が抱える課題解決のために、自由にアイデアを出し合う時間とします。

複雑な背景から生じる事例の課題解決には、多様な視点を持つこと、そして多様な視点をバランスよく統合することが必要ですが、どの分野にも共通して言えることは、一人で考えても、なかなかそれを実現することは難しいということです。【他職種・他機関から学ぼう】とする姿勢が必要です。様々な分野、学校種の人々が、対等な立場で真摯に知恵を出し合えば、あたらしい視点が生まれるものです。近年、個別の教育支援計画の作成と内容の充実がうたわれています。児童・生徒のライフステージを見通し、生活全体を見渡す視点を持つためにも、他職種・他機関の人々との交流は重要になってきます。

もう一つ、本大会で大切にしたいことは、学生や若手教員の参加・育成です。【世代を超えて交流を深めよう】と【世代同士の交流を深めよう】のコンセプトのもと、学生による研究発表や若手教員の交流会を企画しました。学生同士、若手教員同士の交流を目的としていますが、経験のある社会人として、参加者の方々にも加わっていただき、学生や若手教員を励ましたり、アドバイスをしていただければ幸いです。

最後に、初日の夜には、市内のお店で、美味しいお酒と食事をいただきながら、情報交流をしたいと思っています。このような会は、通常、大会関係者の参加が主になるのですが、本交流会は、非会員をはじめ、だれでも参加できる会にしたいと思っています。これも学会の重要なプログラムと位置づけておりますので、気兼ねなく積極的にご参加いただければと思います。

【子どもから学ぼう】：子どものありのままの姿から、大人である私たちは、どうあるべきか、一緒に考えていきましょう。

第19回札幌大会 大会長 安井友康

1. 日程

令和7年11月1日(土曜日)

10:30～	11:00～	13:00～14:30	14:45～16:15	16:15～17:15	19:00～21:30
受付	理事会・総会	グループセッション①	グループセッション②	ポスター発表	(移動) レセプション
		グループセッション③	グループセッション④		

令和7年11月2日(日曜日)

9:00～	10:00～12:00	12:10～13:10	13:20～14:50
受付	学会企画シンポジウム①	若手教員による交流会	学会企画シンポジウム②
	自主シンポジウム	学生による交流会	自主シンポジウム

2. プログラム

11月1日(土)

【グループディスカッション】

教育・医療・福祉分野の協働による専門家チーム会議をのぞいてみよう、のコンセプトのもと企画しました。多職種によるライブディスカッションに、オブザーバーとして参加してください。通常学級、通級指導教室、特別支援学級、特別支援学校の4つ事例について検討します。

グループディスカッション①：通常学級の事例検討

テーマ：「発達障がいのある子どもの自己肯定感を育む支援・指導」

概要：発達障がいのある子どもたちが、自分の良さが分かり、その良さを強みとして前向きに生きていけるようになるために、支援者は何をすればよいのか。皆さんで考えてみませんか。

座長 齊藤真善（北海道教育大学札幌校 准教授）

事例報告者 工藤雅文（札幌市教育委員会 指導主事）

グループディスカッション②：通級指導教室の事例検討

テーマ：「本人の願いを中心にした通級指導教室における支援（仮）」

概要：通級指導教室には、さまざまな状態像を示す子どもが通っています。本人の願いを中心としながら、どのように通常の学級での適応を促していけばよいのかを皆さんで検討できればと思います。何から支援すべきなのか、どのように支援すべきなのかを悩んでいる事例です。

座長 山下公司（北海道教育大学札幌校 准教授）

事例報告者 岩渕友美（札幌市立南月寒小学校 教諭）

グループセッション①と②の各分野の専門家

〈教育〉 工藤雅文（札幌市教育委員会 指導主事）

〈医療〉 末田慶太郎（札幌市子ども発達支援総合センター 児童精神科医）

〈福祉〉 小玉武志（北海道済生会小樽病院 作業療法士）

グループディスカッション③：特別支援学校の事例検討

テーマ：「行動上の課題を持つ生徒の特別支援学校高等部卒業後を見据えた支援の実践（仮）」

概要：卒業後の活動や参加に制限があることが予想される、重い行動上の課題がある自閉症を伴う知的障害の生徒に対する指導支援の方法に関し、各分野からの意見を参考に実践の検証・検討をしたいと考えています。

座長 青木一真（北海道札幌伏見支援学校もなみ学園分校 教諭）

木村牧生（札幌市立豊成支援学校 教諭）

事例報告者 松永真美（札幌伏見支援学校もなみ学園分校 教諭）

グループディスカッション④：特別支援学級の事例検討

テーマ：「思春期の課題に向き合う多職種連携の実践」

概要：軽度知的障害および ASD の中学生が抱える進路選択や心理的傾向などの多様な課題について、医療・教育・福祉の立場が連携しながら多角的に検討を深め、将来の可能性を引き出す支援の実践的なヒントを探りたいと思っています。

座長 清都康雄（北海道教育大学教職大学院 講師）

事例報告者 津田良介（北海道教育大学付属札幌小学校ふじのめ学級 教諭）

菅原祐司（北海道教育大学付属札幌中学校ふじのめ学級 教諭）

グループセッション③と④の各分野の専門家

〈教育〉 坂内 仁（北海道教育委員会 主査）

〈医療〉 柳生一自（北海道医療大学 教授・児童精神科医）

〈福祉〉 坂井翔一（札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる 所長）

【ポスター発表】

会員の皆様からの応募をお待ちしています。奮ってご応募ください。募集の手続きは、「3. 演題募集」の項をご覧ください。

【レセプション(情報交流会)】

幹事：千賀 愛（北海道教育大学札幌校 教授）

大会1日目（11月1日）の19時より、大通駅近くのお店でレセプションを開催いたします。札教大メンバーで下見した美味しいフレンチビストロ系のお店で、参加費はお料理・飲み放題込み 5000 円です。1次申し込みは 8 月 30 日まで、定員 40 人です。詳細情報と申し込みは下記 QR コードからお願いします。



11月2日（日）

【学会企画シンポジウム】

学会企画シンポジウム①

テーマ：「ギフテッド・2E教育の国際比較：北欧と日本から」

概要：ギフテッドの子どもの個性や特性を理解し、学校における教育・支援につなげるには何が求められているのか。北欧と日本のギフテッド・2E教育の最新動向、親の会の取り組みに関する報告から議論します。

座長	千賀 愛（北海道教育大学札幌校 教授）
話題提供1	是永かな子（高知大学 教授）
話題提供2	片桐正敏（北海道教育大学旭川校 教授）
話題提供3	一般社団法人 ギフテッド応援隊

学会企画シンポジウム②

テーマ：「当事者から学ぼう ～これまでの支援についての振り返りを中心に」

概要：小学校や中学校、高等学校、そして大学での支援について、主に学習面での困りを抱える現在大学生の当事者から対談形式で話を聴いていきます。

座長 山下公司（北海道教育大学札幌校 准教授）

【自主シンポジウム】

会員の皆様からの応募をお待ちしています。奮ってご応募ください。募集の手続きは、「3. 演題募集」の項をご覧ください。

【若手教員による交流会】

企画・助言：千賀 愛（北海道教育大学札幌校 教授）
清都康雄（北海道教育大学教職大学院 講師）
村田敏彰（北海道文教大学 教授）

概 要：正採用・臨時採用含めて教職に就いて 5 年以内の若手教員が 3－4 人毎にテーブルに集まり、サイコロ 2 つを振って 12 の身近なトピックスから気軽に話すフリートーク会です。持ち物は自身の昼食と飲み物です。当日、参加者の希望があれば、大学教員が助言に応じます。事前申し込みは不要ですが、定員 30 名が集まった時点で受付終了となります。

【学生による交流会】

企 画：北海道教育大学特別支援教育専攻 4 年生有志
助 言：齊藤真善（北海道教育大学札幌校 准教授）

概 要：卒業論文の作成に取り組んでいる 4 年生が、自分の研究を発表します。北海道教育大学の学生だけでなく、他大学の学生の参加・発表も応募いたします。普段交わることのない学生同士が、この機会に交流できればと考えています。応募される方は、「6. お問い合わせ」にある担当者まで、ご連絡ください。研究室単位で参加くださる場合は、指導教員が代表してご連絡ください。学生個人の応募も歓迎いたします。

3. 演題募集

#自主シンポジウムについて

応募締切日：令和 7 年 8 月末日

応募方法：Google フォーム。以下の URL か QR コードをご利用ください。

URL : <https://forms.gle/ySfEg6iYFNK2zKHJ7>



#ポスター発表について

応募締切日：令和7年8月末日

応募方法：Google フォーム。以下の URL か QR コードをご利用ください。

URL : <https://forms.gle/yCaFp6XNVJJgwVxA9>



4. 大会参加費

会員：2000円

非会員：4000円（両日参加）、3000円（一日参加）

学生：1500円

*参加費は、当日、受付にて、現金でお支払いください。事前予約はありません。

*当日、学会員になられた方は、2000円でご参加いただけます。手続きは、受付にてご案内いたします。学会年会費4000円とあわせて6000円を、受付にてお支払いください。

5. 理事会・総会のご案内

令和7年11月1日（土）の11時より、理事会を開催いたします。9月中に、出欠の確認をいたしますのでご了承ください。理事会終了後、同会場にて総会を開催いたします。会員の皆様のご出席をお待ちしております。

6. お問い合わせ

北海道特別支援教育学会第19回大会事務局

〒002-8502 札幌市北区あいの里5条3丁目1-3 北海道教育大学札幌校

（札幌大会事務局） 齊藤真善

E-mail: hkd-asne@s.hokkyodai.ac.jp



最新情報は HP で

北海道特別支援教育学会

<http://nc3.hokutoku.net/gh/>

